

令和元年度 学力向上プラン

深谷市立岡部西小学校

R
分析

全国学力・学習状況調査より

- ・算数では、量と測定について課題があり、特に記述式の問題に課題がある。また複数の資料を関連付けて判断し、その理由を記述する設問の回答率が低かった。
- ・国語では、文章の内容に沿った同音異義語の漢字の書き取りに課題がある。また、「読むこと」「書くこと」の領域においても課題があった。

埼玉県学力・学習状況調査より

- ・小学4年生：国語では指示語の理解と二段落構成で文章を書くことに課題がある。算数では、どの領域においても文章題を解く設問に課題がある。
- ・小学5年生：国語では国語、漢字辞典の使い方に課題がある。また、登場人物の心情の読み取りについても課題がある。算数では、どの領域においても課題があるが、特に図形についての知識・理解に課題がある。

NRTより

- ・上位層が少なく、中位層が多い。上位層を増やしていくことに課題がある。

G
ゴール

【令和4年度までの目標】

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- 埼玉県学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- NRTで偏差値50を上回る。

【来年度に向けての数値目標】

国語	伸びた児童の割合			県平均との差			学力レベル		
	H30	H31	R2	H30	H31	R2	H30	H31	R2
4年				-4.1	+2.2	+1	5A	5A	6C
5年	62%	55%	70%	-4.4	-2.8	+3	6B	6C	6B
6年	73%	76%	80%	+2.8	-3.5	0	7B	7C	7B
算数 数学	伸びた児童の割合			県平均との差			学力レベル		
	H30	H31	R2	H30	H31	R2	H30	H31	R2
4年				-2.2	+0.7	+1	5C	5B	5A
5年	78%	77%	80%	-4.0	-4.6	+2	5A	5A	6C
6年	73%	64%	80%	+4.7	-6.0	0	7C	6B	7C

P
計
画

【次年度に向けての重点計画】

- ・下位層を減らすために、算数では習熟度別少人数指導を取り入れたり、個別指導の時間を増やしたりし、基礎基本が定着するようにする。
- ・上位層を増やすために、自分の考えを根拠をもとに明確に書く時間を設ける。
- ・学力調査結果を踏まえた、本校の課題を意識した授業づくりに更に取り組む。
- ・他の小学校や研究校のグッドプラクティスを参観したり、収集したりして、校内研修で共通理解を図る。

D
実
行

